

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

実りの秋を終えて



あっという間に 12 月の声を聞き、秋は終わってしまいました。秋らしい日が少ないままに 12 月、まだ暖かいような気がします。今年は残暑が緩やかで、運動会の秋実施の学校・園においては、文字通り「運動の秋」の運動会だったのではないのでしょうか。

松阪市においては、学力向上もさることながら、体力の向上も課題の一つとして上げられます。特に、近年の子どもたちの「遊び」の変化は、子どもたちの体力向上にも大きな影響を与えていると感じています。

そうした課題にも、学校がそれに立ち向かう場としての機能を期待されています。このところの学校の役割の増大も気になるころではありますが、それでも学校が担う役割は大切です。今一度、子どもたちの体の発達、そのために必要な運動について、我々自身も理解を深め、効果的な運動と体育の授業のあり方について学んでいく時期だと思えます。

また、「遊び」についても、特に幼児教育の分野でその重要性については研究され、具体的な遊びも含めて、体づくりと社会性、あるいは脳の発達も含めた遊びの提案がされています。校種を越えた研修というのは、日々の学校運営の中ではなかなか難しいものかもしれませんが、松阪市では、幼小中連携の取り組みが伝統的に積み上げられている強みがあります。この秋も、学力向上推進サポート事業や校区の研究会において、様々な取り組みを参観させていただきました。

小学校、中学校での、頭と体の育ちのために、幼稚園、保育園の先生方の実践から学ぶ機会も、積極的に持っていきたいと感じています。きっと、中学校、小学校の実践にもつながるものが見えてくることと思えます。

さて、11 月をもって、当センターの長期研修員が各協力校での授業を終えました。6 月、11 月と、4 小中学校にご協力をいただきました。ありがとうございました。

ご協力いただいた先生方や児童・生徒のみなさんに感謝しつつ、授業での成果を、研究集録という形でみなさんにお届けするよう、取り組みを進めているところです。現在の研究の様子や方向性などを報告させていただきます。

教育の情報化に先駆けた授業づくり — ICT を活用した、数学科の協働学習を通して —

中学校数学科において、ICT を活用した協働学習を通じて授業づくりの研究をしています。タブレット PC 導入校 2 校にご協力をいただき、前期は 1 年生、2 年生の「文字の式」の単元で、後期は 2 年生の「図形の調べ方」の単元でそれぞれ授業をさせていただきました。

前期は、文字の式を使って「数量を一般化して表すこと」「文字の式を使って説明すること」をねらいに、発展的な課題についての授業を行いました。生徒は、文字という抽象的な概念についてタブレット PC をつかって、色を変えたり、線を引いたり、図を書いたりして試行錯誤して考えること、その文字の式の意味を協働で仲間に説明することに取り組みました。

後期は、図形の調べ方について「図形の性質をみつけること」「図形の性質を証明すること」をねらいに、単元を通じての授業を行いました。線分や角の性質について、どのようなことがいえるのか。そのことについて、生徒は自分の考えをタブレット PC の図に書き込み、それを

手がかりに図形の性質を仲間に説明し、証明することに取り組みました。

今後は授業の中での生徒の発言、感想、タブレット PC のデータをもとに授業を振り返り、考察をまとめ、成果と課題をまとめていきたいと考えております。

(長期研修員 脇本慎太郎)

「単元を貫く言語活動」を位置付けた国語科の授業づくり —主体的に学ぶ言語活動の充実をめざして—

本年度、「単元を貫く言語活動」を位置付けた国語科の授業づくりに取り組んでいます。

前期は、5年生「千年の釘にいとむ」の学習において「おすすめの1冊をポップで友だちに紹介しよう」を単元を貫く言語活動として位置づけました。古代の釘の見事さや、四国の鍛冶職人である白鷹幸伯さんの生き方や考え方を読み取る学習をきっかけにして、本の楽しさに気付き、自分の読書の世界を広げ深めていくことをねらいとしました。子どもたちは「千年の釘にいとむ」のすごいと思った所を見つけ、なぜすごいと思ったのか友だちに話したり、すごいと思った所のキャッチコピーを考えたりし、ポップを作り紹介しました。

後期は、4年生「ごんぎつね」の学習において、単元を貫く言語活動として「南吉新聞を作ってお気に入りの物語を紹介しよう」を位置づけ、授業を行いました。子どもたちは新美南吉の世界を味わい、友だちに紹介するために、あらすじや主人公の性格、気持ちの変化などを読み、新聞にまとめました。

今後は、児童の発言や感想をもとに、学習における手立てなどについて考察し、研究の成果や課題をまとめていく予定です。

(長期研修員 津畑哲哉)

書籍紹介

★今年度研修講座講師の著書を購入してあります。
一部を紹介いたしますので、ご活用ください。(貸し出し可)

講座名	講師名 (敬称略)	書名
乳幼児教育	河崎 道夫	保育の教室③ あそびのちから—子どもと遊ぶ保護者のしごと—
乳幼児教育	柴崎 正行	子どもが育つ保育環境づくり 園内研修で保育を見直そう
外国語活動/外国語	直山木綿子	小学校外国語活動のツボ
特別支援教育	松久 眞実	発達障害の子どもとあったか仲間づくり いじめ撲滅！12ヶ月
学級づくり	金 大 竜	ハッピー先生のとっておき授業レシピ
学級づくり	増田 修治	「ホンネ」が響きあう教室 どんぐり先生のユーモア詩を通した学級づくり
特別支援教育	十一 元三	子供と大人のメンタルヘルスがわかる本 精神と行動の異変を理解するためのポイント 40
算数	盛山 隆雄	算数授業研究特別号⑫ 自分の言葉で説明する算数授業
道徳	鈴木 健二	必ず成功する！新展開の道徳授業
授業力向上	宗我部義則	指導計画から評価まで完全対応！ 中学校国語科新授業モデル 話すこと・聞くこと編